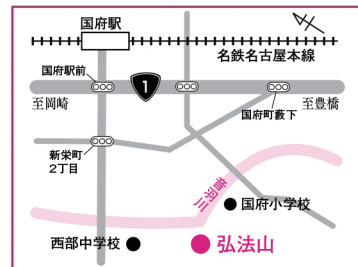




みつけた!



国府の楽園「弘法山」



国府町の弘法山は、地元の人々が行楽地にしようと、明治22（1889）年に道の整備や植樹が行われ、人工の滝や温泉施設が設けられるなど、かつては「国府園」「国府楽園」と呼ばれた観光地でした。現在は弘法山公園となっていますが、公園手前の音羽川に架かる楽園橋の名称は、その名残です。

弘法山公園には野球場やテニスコートがあり、スポーツをする人が訪れることが多いですが、山頂近くにある展望広場では、東方向に開けた眺望を楽しむこともできます。標高はそれほど高くないものの、北に国府町、東に豊川市街地、南に豊橋市街地を見ることができる眺めは、お勧めスポットの1つです。また、山頂付近は、八十八カ所や三十三観音の数多くの石仏、毘沙門堂や稲荷堂などのお堂がある霊場となっていて、歴史を感じることのできるエリアです。

公園周辺には遊歩道や駐車場がありますので、身近な四季折々の自然や歴史、豊川市の眺望を楽しんでみてはいかがでしょうか。

